

2020年度
公益社団法人 日本地すべり学会東北支部
第36回 総会

議 案 書

開催場所：株式会社復建技術コンサルタント 会議室
開催日時：2020年5月15日（金） 16時00分～17時00分

議事次第

1. 開 会
2. 支部長挨拶
3. 議 事
 - 第一号議案 2019年度事業報告
 - 第二号議案 2019年度収支決算報告及び監査報告
 - 第三号議案 2020年度事業計画（案）
 - 第四号議案 2020年度収支予算（案）
 - 第五号議案 役員改選の件（案）
 - その他

 - 報告事項ほか
4. 閉 会

※2020年度シンポジウム及び意見交換会は延期とし、後日開催とする。

○ 第一号議案 2019 年度事業報告

(1) 支部総会・シンポジウム

<支部総会>

- ① 日 時 2019 年 4 月 22 日 13:00～13:45
- ② 場 所 仙台市戦災復興記念館記念ホール（参加者 85 名 委任状 9 名）
- ③ 議 事 第一号議案 2018 年度事業報告
第二号議案 2018 年度収支決算報告及び監査報告
第三号議案 2019 年度事業計画（案）
第四号議案 2019 年度収支予算（案）
第五号議案 支部運営規則改定の件（案）
その他・報告事項
表彰 東北支部賞 3 名 感謝状 1 団体

<シンポジウム>

- ① 日 時 2019 年 4 月 22 日 14:00～17:30
- ② 場 所 仙台市戦災復興記念館記念ホール（参加者 199 名）
- ③ テーマ 「地すべりの安定化の判断、収束条件
－ 概成の考え方、その後の管理の在り方について」 （CPD：3.20 時間）

○ 基調講演

- ・「直轄地すべり防止工事の完了の考え方(平成 16 年 1 月)」制定の経緯と完了事例
一般社団法人砂防・地すべり技術センター理事 綱木亮介 氏

○ 講 演

- ・「概成(事業中断)した地すべり再活動と事業再開」 新和設計株式会社 細谷健介 氏
- ・「河川沿いの地すべり再活動」 奥山ボーリング株式会社 荻田 茂 氏
- ・「磐井川地すべりの概成について」 国土防災技術株式会社 大坪俊介 氏
- ・総合討論 司会（コーディネーター） 金子和亮 氏 大村 泰 氏

<意見交換会>

- 会 場 グランテラス仙台国分町 （参加者 74 名）

(2) 会議等

① 役員会

- ・第 1 回役員会、兼巡検計画委員会（2019 年 8 月 3 日 戦災復興記念館会議室 10 名）
事業計画・実施状況、2019 年度現地検討会実施計画案（巡検計画委員会）等に関する協議
- ・第 2 回役員会（2020 年 1 月 25 日 （株）復建技術コンサルタント会議室 6 名）
次期役員人事、2020 年度総会・シンポジウム日程、災害追加調査、事業実施状況に関する協議ほか

② 拡大幹事会

- ・第 1 回拡大幹事会（2018 年 8 月 3 日 戦災復興記念館会議室 10 名）
地すべり現地検討会の計画・実施要領に対する協議ほか
- ・第 2 回拡大幹事会（2019 年 10 月 19 日 東北工業大学 7 号館 12 名）
「2019 年台風第 19 号災害に関する東北学術調査団」に関する支部活動要綱の協議

- ・第3回拡大幹事会（2019年11月2日 日本工営（株）仙台支店会議室 14名）
合同調査団の実施要領及び調査箇所、調査内容に関する協議
- ・第4回拡大幹事会（2019年11月30日 日本工営（株）仙台支店会議室 8名）
調査結果取りまとめ、合同調査団速報会に関する協議
- ・第5回拡大幹事会（2020年3月27日） →新型コロナウイルス対策のため中止
- ③ 運営委員会（2020年3月27日）
→新型コロナウイルス対策のため中止し、4/1に役員会として振り替えて実施（8名）
- ④ 委員会
 - ・巡検計画委員会（2019年7月17日 東京 JOGMEC 東京本部 3名）
（独法）石油天然ガス・金属鉱物資源機構と現地検討会及び施設見学に関する協議
- ⑤ 「2019年台風第19号災害に関する東北学術調査団」に関する合同会議
 - ・2019年10月17日 合同打合せ（（一社）土木学会東北支部事務局 2名出席）
 - ・2019年11月25日 合同打合せ（（一社）土木学会東北支部事務局 1名出席）

（3）支部ワーキンググループ「斜面変動研究の次世代コロキウム」の開催

- ① 趣 旨 支部若手～中堅会員の技術的交流の場として、以下を趣旨とした勉強会、分科会活動を行った。今年度は5回を予定したが、台風第19号災害に伴う合同調査団参画や新型コロナウイルスの影響により2回の実施にとどまった。本部の「若手会員対策費」を活用して事業展開した。
 - ・経験者の知識、ノウハウ、コツを若手技術者へ伝承する
 - ・支部若手のアクティビティー向上
 - ・学会発表、学会誌等への投稿（会員が有する貴重なデータの論文文化）
 - ・会勢拡大
- ② 開催日
 - 第1回：8月3日 趣旨・今年度の方針説明、分科会報告 参加18名
 - 第2回：10月11日 話題提供5編、分科会報告 参加13名
 - 第3回：2月14日 →新型コロナウイルス対策で中止
- ③ 分科会
 - キャップロック・地下水分科会 2019年6月1日 平根地すべり 参加3名
 - 応用地形判読分科会 2019年11月30日 実習・現地検討会資料作成 参加6名



<コロキウム開催状況>

(4) 東北支部地すべり現地検討会の開催

① 期 日 2019 年 10 月 2 日～3 日

② 場 所 岩手県八幡平市「八幡平地すべり及び旧松尾鉱山」

③ 地すべりと地下水流動をテーマに概成した及び概成を目指すブロックを対象にして、対策状況などの現地視察を行った。また、近接する旧松尾鉱山から排出される強酸性水の坑廃水処理施設を見学した。検討会では八幡平地すべりの概成に向けての意見、坑廃水処理事業に関しての意見交換を行った。



＜源太岩展望所での集合写真＞

④ 参加者 64 名（女性 6 名、男性 58 名）

⑤ CPD JCCA 認定 6.50 単位、JLS 認定 7.00 単位

(5) 災害調査派遣

2019 年 10 月 12 日に上陸し、13 日にかけて東日本を通過した台風第 19 号の被害は広範囲にわたり、東北地方の太平洋側には大きな被害をもたらした。東北支部では（一社）土木学会東北支部、（一社）地盤工学会東北支部及び東北大学災害科学国際研究所とともに「2019 年台風第 19 号災害に関する東北学術合同調査団」を結成し、現地調査を実施した。

本学会では土砂災害を中心に宮城県丸森町及び岩手県三陸沿岸部を対象に調査を行った。

- ・第 1 回現地調査 2019 年 11 月 9 日～10 日 宮城県丸森町 参加 14 名
- ・第 2 回現地調査 2019 年 11 月 16 日～17 日 宮城県丸森町 参加 6 名
- ・第 3 回現地調査 2019 年 11 月 23 日～24 日 岩手県沿岸部 参加 20 名
- ・第 4 回現地調査 2020 年 2 月 9 日 宮城県丸森町 参加 6 名

(6) 広報活動等

① 支部だより第 30 号の発行（2019 年 12 月 20 日）

- ・印刷部数 350 部、発送部数 344 部
- ・本学会入会案内を同封し会勢拡大を図った。

② 支部ホームページの更新、情報発信

- ・各種事業案内、参加募集、委員会活動報告、支部行事等の掲載など

(7) 関連団体との連携・地域貢献

① 「2019 年台風第 19 号災害に関する東北学術合同調査団」への参画

（一社）土木学会東北支部、（一社）地盤工学会東北支部、東北大学災害科学国際研究所

- ・合同調査団「調査結果に関する速報会」

（2019 年 12 月 14 日 東北学院大学土樋キャンパス 参加 170 名）

- ・合同調査団本報告会（2020 年 3 月 20 日） →新型コロナウイルス対策のため延期

(公社)日本地すべり学会

東北支部だより

vol.

30

東北支部事務局

〒980-0012

仙台市青葉区錦町1丁目7番25号

株式会社復建技術コンサルタント内

担当:大澤、羽生 ☎022-262-1234



ご挨拶

東北支部長

大河原 正文

(岩手大学 理工学部

システム創成工学科 准教授)

令和の時代が幕を開け、いよいよオリンピック開催まであと半年あまりとなりました。会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、地すべり学会東北支部では永年に亘り事務局をされてきた株式会社テクノ長谷の島本様のご退職になり、4月の総会から株式会社復建技術コンサルタントの大澤様、羽生様の新体制で臨んでおります。また、永年支部活動にご尽力を賜りました弘前大学の楢垣教授、東北学院大学の宮城教授、東北工業大学の千葉教授が平成31年3月をもちまして退官されました。東北支部にとりまして大きな痛手ではありますが、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。これまでの地すべりに関する研究成果と支部長をはじめ多岐にわたるご尽力に対し、総会において皆様に「支部賞」を贈呈させていただいたこと、ここにご報告させていただきます。

さて、東北支部では今年度も様々な活動を進めております。10月には岩手県八幡平で現地検討会を実施しました。新たな企画として現地で鉱山廃水の地下水制御に取り組まれている経産省および(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構「JOGMEC」のご協力により、現地案内はもとより地下水に関する最新のシミュレーション技術についてご紹介いただきました。他分野との交流は、新たな視点の開拓という点で大変有益でした。

さらに、若手育成の柱である斜面変動研究のコロキウム講座は、8月と10月に開講され、地形、地下水、運動機構などの観点から議論を進めております。本講座により次世代を担う若手技術者が確実に力をつけているのも経験豊富な会員の皆様のご指導あつてのことと心より御礼申し上げます。

ところで、今年も全国各地で地震、豪雨、台風による甚大な被害が発生しました。主なものだけでも6月18日の

山形県沖で発生した地震、8月26～28日にかけての九州北部豪雨、9月5～9日にかけての台風15号、そして10月11～12日の台風19号と立て続けに発生しております。とくに台風19号は、中心気圧955hPa、最大風速40m/sの過去最大規模の台風で、関東甲信越から東北地方に猛烈な雨を降らせ、各地で観測史上1位を次々と更新しました。警戒レベル5の災害発生情報が各地で出され、気象庁は大雨特別警報を13都県に発表しました。平成最悪の豪雨災害とされた平成30年の西日本豪雨での大雨特別警報は11府県でしたので、それを上回っています。

東北地方では、宮城県、福島県、岩手県などで、河川氾濫、内水氾濫、堤防決壊や橋梁の損壊、道路や鉄道での地盤災害、造成地被害、ため池の決壊、そして土石流、斜面崩壊による土砂災害が多発しました。被害の特徴として広範囲かつ災害の種類が多様であることが挙げられます。地すべり学会東北支部は、公益社団法人として甚大な災害が発生したとき、そのメカニズム解明と被害拡大の抑制を図るための学術調査を行うことを使命としております。この台風災害に対し、10月に土木学会東北支部、地盤工学会東北支部、日本地すべり学会東北支部、東北大学災害科学国際研究所が合同して東北学術合同調査団(団長、田中仁東北大学大学院教授)が結成されました。地すべり学会東北支部は、土木学会東北支部、地盤工学会東北支部とともに国土交通省東北地方整備局と「災害時における調査の相互協力に関する協定」を締結しており、行政面でも共通の土台をもっております。地すべり学会東北支部は、宮城県、福島県、岩手県の土砂災害を対象に、鋭意、調査にあたっております。調査結果は、12月14日(土)の速報会(東北学院大学土樋キャンパス)で公表されたほか、3月に本報告会が開催される予定です。また、砂防学会東北支部と土砂災害の情報共有を通して連携を図っておりますこともご報告いたします。

東北支部は2020年に設立35周年を迎えます。記念事業の一環として、現在、山形大学の八木教授を中心に地形情報に基づく危険度評価に関するガイドブックの刊行を進めております。会員皆様に大変有益な情報をご提供できと思いますので、どうぞご期待下さい。

最後になりますが、会員の皆様には今後とも東北支部の活動にご協力、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

<支部だより 第30号 : 大河原支部長挨拶>

○ 第二号議案 2019 年度収支決算 2020. 3. 31 現在

(その1)

【収益】				2019年度 予算 b	2019年度 決算 a	増減 a-b	備 考
勘定科目							
大科目	中科目	小科目	細目				
支部収益				1,625,050	1,870,035	244,985	
事業収益				1,025,000	1,136,756	111,756	
		シンポジウム収益		360,000	420,000	60,000	
			参加費	0	0	0	
			意見交換会費	360,000	420,000	60,000	
		現地検討会収益		585,000	681,000	96,000	
			参加費	450,000	570,000	120,000	
			意見交換会費	135,000	111,000	-24,000	
		技術講習会収益		80,000	0	-80,000	若手育成事業(次世代コロキウム)
			参加費	50,000	0	-50,000	
			意見交換会費	30,000	0	-30,000	
		出版収益		0	35,756	35,756	
			会誌頒布	0	0	0	
			その他の出版	0	35,756	35,756	書籍「東北の地すべり」7冊
		協賛・寄付		600,000	620,000	20,000	
			協賛金	600,000	620,000	20,000	31社×2万
			寄付金	0	0	0	
		雑収益		0	0	0	
		受取利息		50	21	-29	
		本部助成金(若手対策費2018年分)		0	113,258	113,258	
本部仮払金(下記に内訳を記載)				0	0	0	
当期収益合計(A=支部収益+本部仮払金)				1,625,050	1,870,035	244,985	
【費用】							
勘定科目				2019年度 予算 b	2019年度 決算 a	増減 a-b	備 考
大科目	中科目	小科目	細目				
支部費用				1,984,000	1,848,450	-135,550	
		事業費		1,671,000	1,609,708	-61,292	
		シンポジウム会費		525,000	494,297	-30,703	
			印刷製本費	25,000	23,489	-1,511	
			会場費(会場使用料)	20,000	31,410	11,410	次年度会場予約代¥18,100含む
			会議費(意見交換会含む)	350,000	360,820	10,820	
			諸謝金	50,000	0	-50,000	
			旅費交通費	60,000	68,648	8,648	
			借料(バス・レンタカー代)	0	0	0	
			通信運搬費	10,000	82	-9,918	
			支払手数料	3,000	200	-2,800	
			消耗品	0	0	0	
			諸会費(CPD認定手数料など)	5,000	9,648	4,648	
			雑費	2,000	0	-2,000	
		現地検討会費		754,000	715,423	-38,577	
			印刷製本費	5,000	8,976	3,976	
			会場費(会場使用料)	30,000	11,140	-18,860	
			会議費(意見交換会含む)	150,000	115,839	-34,161	
			諸謝金	0	0	0	
			旅費交通費	450,000	455,690	5,690	
			借料(バス・レンタカー代)	100,000	110,000	10,000	
			通信運搬費	10,000	0	-10,000	
			支払手数料	2,000	1,100	-900	
			消耗品	2,000	0	-2,000	
			諸会費(CPD認定手数料など)	5,000	5,230	230	
			外注費	0	0	0	
			雑費	0	7,448	7,448	傷害保険,領収書送付
		技術講習会費		130,000	51,830	-78,170	若手育成事業(次世代コロキウム)
			印刷製本費	10,000	0	-10,000	
			会場費(会場使用料)	15,000	3,150	-11,850	
			会議費(意見交換会含む)	50,000	16,000	-34,000	
			諸謝金	0	0	0	
			旅費交通費	50,000	32,020	-17,980	
			借料(バス・レンタカー代)	0	0	0	
			通信運搬費	0	0	0	
			支払手数料	0	660	660	
			消耗品	0	0	0	
			諸会費(CPD認定手数料など)	5,000	0	-5,000	
			外注費	0	0	0	
			雑費	0	0	0	

(その2)

【費用】				2019年度 予算 b	2019年度 決算 a	増減 a-b	備 考
大科目	中科目	勘定科目 小科目	細目				
		※その他の事業活動(上記の3つ以外)		262,000	348,158	86,158	
			印刷製本費	170,000	176,330	6,330	支部だより印刷費
			会場費(会場使用料)	20,000	1,360	-18,640	
			会議費(意見交換会含む)	25,000	35,790	10,790	
			広告宣伝費	0	0	0	
			パート・アルバイト代	0	0	0	
			諸謝金	0	0	0	
			旅費交通費(社会貢献・緊急調査)	20,000	100,000	80,000	合同調査団の各学会費用負担
			借料(バス・レンタカー代)	0	0	0	
			通信運搬費	16,000	27,882	11,882	
			情報システム費(HP関係など)	0	0	0	
			支払手数料	1,000	990	-10	
			消耗品	0	0	0	
			備品	0	0	0	
			外注費	0	0	0	
			支払保険料	0	0	0	
			諸会費(CPD認定手数料など)	0	0	0	
			賞金・賞品(副賞や感謝状など)	10,000	5,806	-4,194	
			雑費	0	0	0	
			その他	0	0	0	
	管理費			313,000	238,742	-74,258	
		給与・手当		0	0	0	
			パート給与	0	0	0	
			アルバイト給与	0	0	0	
		会場費		10,000	0	-10,000	
		会議費		60,000	0	-60,000	
			支部総会費	20,000	0	-20,000	
			幹事会・運営委員会	40,000	0	-40,000	
		印刷製本費		10,000	0	-10,000	
		旅費交通費		50,000	52,720	2,720	
		借料		0	0	0	
		通信運搬費		5,000	4,684	-316	
		消耗品(事務用品費)		25,000	30,690	5,690	
		備品		0	0	0	
		外注費		150,000	150,000	0	事務委託費
		支払手数料		2,000	0	-2,000	
		雑費		1,000	648	-352	残高証明費用
						0	
当期費用合計(B)				1,984,000	1,848,450	-135,550	
当期収支差額(C=A-B)				-358,950	21,585	-380,535	
前期未払い金				17,850			2020年度総会会場費(予約金)
当期前払金							
前期繰越額(D)				1,784,961	1,784,961		
次期繰越額(D+C)				1,443,861	1,806,546		

※技術講習会費(若手対策コロキウム)は、2020年度に本部より執行される見込み

<2019年度収支決算>

- 収益(A) 1,870,035 円
- 費用(B) 1,848,450 円
- 収支(A-B) 21,585 円
- 前期未払金 0 円
- 次期繰越金(前期繰越金+当期収支差額)

=1,784,961 円+21,585 円=1,806,546 円

監査報告（東北支部）

2020年4月1日

公益社団法人 日本地すべり学会
会 長 八木 浩司 殿

監事 橋本修一 
監事 渋谷保 

2019年4月1日から2020年3月31日までの会計および業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿ならびに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて決算書の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、会議等への出席、または支部長からの業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 決算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、支部の経理の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 支部の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

○ 第三号議案 2020年度事業計画（案）

（1）支部総会・シンポジウム

＜支部総会＞

※委任状を使って定足数を確保し、役員及び（副）幹事長、事務局で取りまとめ実施する。

- ① 日 時 2020年5月15日 16:00～17:00
- ② 場 所 株式会社復建技術コンサルタント 会議室
- ③ 議 事 第一号議案 2019年度事業報告
第二号議案 2019年度収支決算及び監査報告
第三号議案 2020年度事業計画（案）
第四号議案 2020年度収支予算（案）
第五号議案 役員改選の件（案）
その他・報告事項

＜シンポジウム＞

- ① 日 時 →新型コロナウイルス対策として延期
- ② 場 所 仙台市戦災復興記念館記念ホール(予定)
- テーマ 「(仮)2019年台風第19号災害に関する合同調査団調査報告」(案)
- 基調講演 「未定」
- 講 演
「岩手県沿岸部における災害状況」(案)
「宮城県丸森町における災害状況」(案)
「水文解析から見た災害分布」(案)
- 総合討論 司会（コーディネーター）（未定）

＜意見交換会＞ →新型コロナウイルス対策として延期

※シンポジウム及び意見交換会はコロナウイルスへの対応とて、延期する。開催時期等については終息状況等を考慮して役員会、幹事会で決定する。

（2）東北支部活動

- ① 役員会
 - ・ 2020年6月、2021年2月に予定、その他協議が必要な場合に随時開催
 - ・ 支部事業の運営及び実施状況等に関する協議等
- ② 幹事会・拡大幹事会
 - ・ 2020年8月、2020年10月、2021年2月に予定、その他協議が必要な場合に随時開催
 - ・ 各支部事業の計画立案、運営等に関する協議等
- ③ 運営委員会
 - ・ 2021年3月に予定
 - ・ 2020年度事業報告・収支決算及び2021年度事業計画・予算（案）の審議
- ④ 各委員会：事業企画、巡検計画、広報、書籍編集
 - ・ 事業実行に応じて随時開催

(3) 若手育成事業「斜面変動研究の次世代コロキウム 2020」の継続 (事業企画委員会)

① 実施要領

- ・会勢拡大、若手技術者のアクティビティー向上を目的とした意見交換の場を引続き設ける。
- ・地すべり学会本部分科会などへの積極的な参加、学会誌への投稿を推進すべく、参加者にメリットのある講師を招いた講演会も企画する。
- ・既往知識の勉強会にとどまらず、新たな研究課題を持ち寄り、それに関する成果を得るための意見交換の場を提供する。
- ・それらを希望する若手のみならず、それを牽引してくれる中堅の技術者にも参加を募る。

② 分科会：攻撃斜面、キャップロック地すべり、地下水検層、応用地形判読

- ・各分科会毎にテーマを決めて研究、発表を行い議論を深める。
- ・本部分科会などへの積極的な参加や学会誌への寄稿を促す。

③ 実施要領

- ・第1回を6月に開催予定とし2ヶ月に1回程度、計5回程度の開催を予定する。
- ・参加人数は20名程度とし、参加については随時会員に広く公募する。

(4) 継続的な現地調査・研究の検討 (事業企画委員会)

- ・地すべり地における継続的な現地調査や研究を行うための研究フィールドを検討し、若手を含む会員の地すべり調査技術の向上や研究テーマの提供の可能性を企画、検討する。
- ・例として、2018年度現地検討会開催地「青森県権現崎地すべり」など

(5) 地すべり現地検討会の開催 (巡検計画委員会)

① 場 所 秋田県由利本荘市上笹子「崩ヶ沢地すべり」

② 地すべり概要

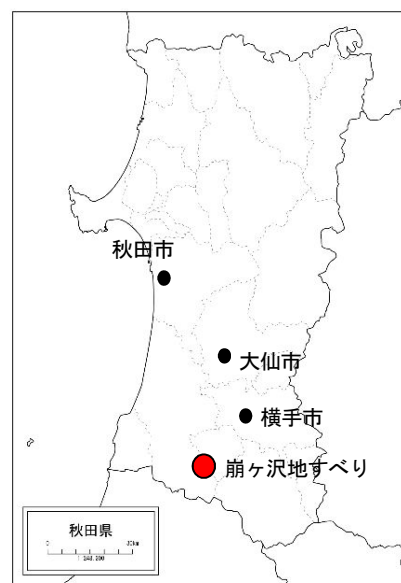
崩ヶ沢地すべりは末端部を河川浸食されたことを誘因とした再活動地すべりで、2019年度で応急対策（押え盛土）と調査が完了し、今年度は本工事（頭部排土等）の施工予定。

③ 時 期 2020年10月6日～7日（1泊2日 予定）

④ テーマ（案）「再活動する岩盤地すべり発生機構と対策」

⑤ 募集人員 定員 45～50人程度

⑥ 宿泊先：ホテルフォレスト鳥海



<検討会計画位置図>

(6) 災害調査派遣 (巡検計画委員会)

- ① 調査に値する災害情報が提供された場合は、本部「土砂災害緊急調査内規」に準じて調査派遣を検討、実施する。
→オブザーバーとの連携・情報収集、他学会・協会等とも柔軟に連携
- ② 調査目的と成果の明確化を図り、本部とも連携して実施する。
- ③ 調査後は報告書にまとめ提出するほか、ホームページなどで会員に広く広報する。

(7) 社会貢献・会勢活動 (各委員会)

- ① 斜面防災のリスクの再認識を促し、コミュニティの自助・共助の重要性などについての啓蒙・普及・研修に関する活動を計画する。
- ② 各委員会と連携し各種団体への出前講座や出張授業等を積極的に推進し宣伝活動を行う。
 - ・対象や内容、講師など、中・長期的な戦略を立て情報収集を行う。
 - ・シンポジウムや勉強会の開催

(8) 他学協会との交流活動 (各委員会)

- ① 協賛団体、関連団体・学会との情報共有を推進する。
斜面防災対策技術協会東北支部 全国地質調査業協会連合会 東北地質調査業協会
砂防学会東北支部 土木学会東北支部 応用地質学会東北支部 地盤工学会東北支部など
- ② 関連協会への現地検討会参加による相互の意見交換と技術交流を図る。
- ③ 災害調査における連携
 - ・関連学協会との合同調査に対して積極的な対応を推進する。
- ④ 「2019 年台風第 19 号に関する学術調査団調査」への参画（調査報告書作成 2020 年 10 月）

(9) 広報活動 (広報委員会)

- ① 支部だより第 31 号の発行（2020 年 12 月の予定）
 - ・支部会員、協賛団体及び企業への学会活動の情報提供
 - ・支部行事、委員会活動の報告
 - ・支部だよりを支部ホームページにも掲載
- ② 支部ホームページの更新、情報発信
 - ・各事業の開催案内・参加募集、委員会活動の報告、支部行事の掲載など
- ③ 会勢拡大活動
 - ・他委員会と連携し講師派遣などを通じた支部活動の宣伝活動を行う。
 - ・「地すべり調査・設計に関する技術講座」の開催立案

(10) 書籍発刊

- ① 趣 旨 地すべり地形を含む斜面の地形形成プロセスや安定度を、地形判読から推定できることを利用して、地すべりの危険度を評価する研究を行ってきた成果を、斜面災害危険度評価のガイドブックとしてまとめ、一般に広く周知し利用してもらうことを目的に発刊する。
- ② 書籍名称 「防災のための地すべり地形の読み解き方ー斜面災害危険度評価ガイドブック」
- ③ 出版時期 朝倉書店より 2020 年度末に発刊予定
- ④ 執筆者
 - ・ 編著 : 八木浩司(山形大学)
 - ・ 執筆者: 八木浩司 宮城豊彦(東北学院大学名誉教授) 檜垣大助(弘前大学名誉教授)
林 一成(奥山ボーリング) 濱崎英作(アドバンテクノロジー) 池田浩二(東北開発コンサルタント) 他
 - ・ 支部 : 支部では各章内における Q&A、コラム、実践事例などを担当し執筆予定

○ 第四号議案 2020 年度収支予算（案）

（収益）

【収益】				2019年度 予算 b	2020年度 予算 a	増減 a-b	備 考
大科目	中科目	小科目	細目				
支部収益				1,625,050	1,720,010	94,960	
事業収益				1,025,000	1,120,000	95,000	
シンポジウム収益				360,000	450,000	90,000	2019年度実績を参考値
参加費				0	0	0	
意見交換会費				360,000	450,000	90,000	
現地検討会収益				585,000	670,000	85,000	2019年度実績を参考値
参加費				450,000	550,000	100,000	
意見交換会費				135,000	120,000	-15,000	
技術講習会収益				80,000	0	-80,000	若手育成事業（次世代コロキウム）
参加費				50,000	0	-50,000	
意見交換会費				30,000	0	-30,000	
出版収益				0	0	0	
会誌頒布				0	0	0	
その他の出版				0	0	0	
協賛・寄付				600,000	600,000	0	
協賛金				600,000	600,000	0	30社×2万
寄付金				0	0	0	
雑収益				0	0	0	
受取利息				50	10	-40	
本部助成金(若手対策費2019年分)				0	0	0	
本部仮払金（下記に内訳を記載）				0	0	0	
当期収益合計(A=支部収益+本部仮払金)				1,625,050	1,720,010	94,960	

（費用その1）

【費用】				2019年度 予算 b	2020年度 予算 a	増減 a-b	備 考
大科目	中科目	小科目	細目				
支部費用				1,984,000	2,660,000	676,000	
事業費				1,671,000	2,302,000	631,000	
シンポジウム会費				525,000	596,000	71,000	
印刷製本費				25,000	25,000	0	
会場費(会場使用料)				20,000	20,000	0	
会議費(意見交換会含む)				350,000	450,000	100,000	
諸謝金				50,000	0	-50,000	
旅費交通費				60,000	80,000	20,000	
借料(バス・レンタカー代)				0	0	0	
通信運搬費				10,000	5,000	-5,000	
支払手数料				3,000	1,000	-2,000	
消耗品				0	0	0	
諸会費(CPD認定手数料など)				5,000	10,000	5,000	
雑費				2,000	5,000	3,000	
現地検討会費				754,000	875,000	121,000	
印刷製本費				5,000	10,000	5,000	
会場費(会場使用料)				30,000	30,000	0	
会議費(意見交換会含む)				150,000	210,000	60,000	
諸謝金				0	0	0	
旅費交通費				450,000	600,000	150,000	
借料(バス・レンタカー代)				100,000	0	-100,000	貸切バス不要の予定
通信運搬費				10,000	5,000	-5,000	
支払手数料				2,000	2,000	0	
消耗品				2,000	0	-2,000	
諸会費(CPD認定手数料など)				5,000	10,000	5,000	
外注費				0	0	0	
雑費				0	8,000	8,000	傷害保険等

(費用その2)

【費用】				2019年度 予算 b	2020年度 予算 a	増減 a-b	備 考
大科目	中科目	勘定科目 小科目	細目				
		技術講習会費		130,000	120,000	-10,000	若手育成事業(次世代コロキウム)
			印刷製本費	10,000	5,000	-5,000	
			会場費(会場使用料)	15,000	10,000	-5,000	
			会議費(意見交換会含む)	50,000	50,000	0	
			諸謝金	0	0	0	
			旅費交通費	50,000	50,000	0	
			借料(バス・レンタカー代)	0	0	0	
			通信運搬費	0	0	0	
			支払手数料	0	0	0	
			消耗品	0	0	0	
			諸会費(CPD認定手数料など)	5,000	5,000	0	
			外注費	0	0	0	
			雑費	0	0	0	
		※その他の事業活動(上記の3つ以外)		262,000	711,000	449,000	
			印刷製本費	170,000	200,000	30,000	支部だより印刷費
			会場費(会場使用料)	20,000	20,000	0	
			会議費(意見交換会含む)	25,000	30,000	5,000	
			広告宣伝費	0	0	0	
			パート・アルバイト代	0	0	0	
			諸謝金	0	0	0	
			旅費交通費(社会貢献・緊急調査)	20,000	20,000	0	
			借料(バス・レンタカー代)	0	0	0	
			通信運搬費	16,000	30,000	14,000	2019年度実績を参考値
			情報システム費(HP'関係など)	0	0	0	
			支払手数料	1,000	1,000	0	
			消耗品	0	0	0	
			備品	0	0	0	
			外注費	0	0	0	
			支払保険料	0	0	0	
			諸会費(CPD認定手数料など)	0	0	0	
			賞金・賞品(副賞や感謝状など)	10,000	10,000	0	
			雑費	0	0	0	
			その他	0	400,000	400,000	35周年事業の出版費
		管理費		313,000	358,000	45,000	
		給与・手当		0	0	0	
			パート給与	0	0	0	
			アルバイト給与	0	0	0	
		会場費		10,000	10,000	0	
		会議費		60,000	60,000	0	
			支部総会費	20,000	20,000	0	
			幹事会・運営委員会	40,000	40,000	0	
		印刷製本費		10,000	10,000	0	
		旅費交通費		50,000	50,000	0	
		借料		0	0	0	
		通信運搬費		5,000	5,000	0	
		消耗品(事務用品費)		25,000	40,000	15,000	
		備品		0	30,000	30,000	ヘルメット等補充
		外注費		150,000	150,000	0	事務委託費
		支払手数料		2,000	2,000	0	
		雑費		1,000	1,000	0	残高証明費用
		当期費用合計(B)		1,984,000	2,660,000	676,000	
		当期収支差額(C=A-B)		-358,950	-939,990	-581,040	
		前期未払い金		17,850		-17,850	
		当期末払金					
		前期繰越額(D)		1,784,961	1,806,546	21,585	
		次期繰越額(D+C)		1,443,861	866,556	-577,305	

※ 2020年度収益の若手対策費は技術講習会(コロキウム)費用に充当する見込み。

※ 2020年度の主な費用増大は東北支部35周年事業の出版費(40万円)によるもの。

○ 第五号議案 役員改選の件（案）

（1）役員改選

2020年1月25日開催の支部運営委員会において、以下の推薦を得た。

- ・支部長：大河原 正文 氏 （岩手大学工学部 准教授） 再任
- ・副支部長：高 見 智 之 氏 （国際航業(株)東北支社 技術部長） 新任
- ・監 事：橋 本 修 一 氏 （(株)東北開発コンサルタント 専門役） 再任
- ・監 事：渋谷 保 氏 （日特建設(株)東北支店 技術部長） 再任

＜参考：支部運営規定抜粋＞

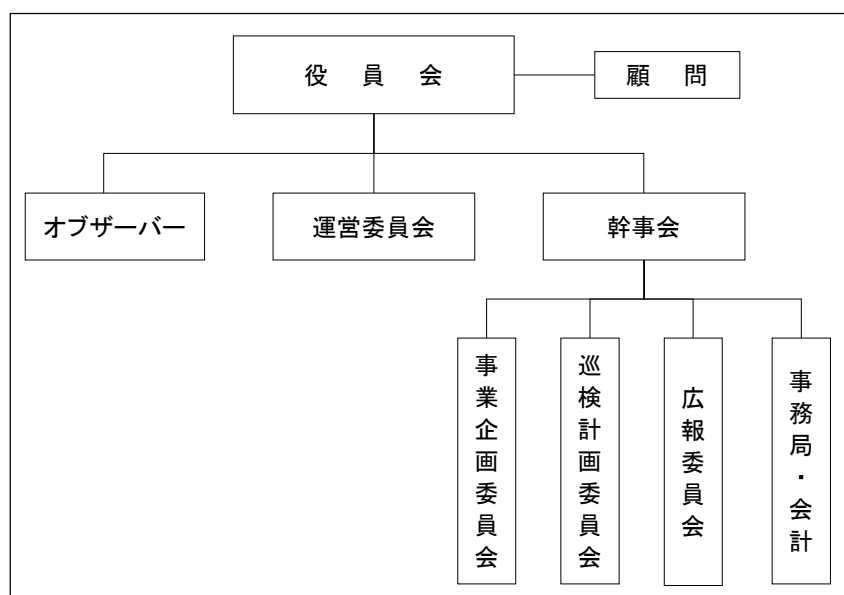
第3条 支部に役員、顧問、運営委員、幹事長、副幹事長、幹事を置く。

顧 問	若干名
支 部 長	1名（役員）
副支部長	若干名（〃）
監 事	2名（〃）
運営委員	若干名
幹 事 長	1名
副幹事長	若干名
幹 事	若干名

第4条 役職の任期は2年とする。再任は妨げない。前年度の運営委員会が支部会員のうちから推薦し、総会において承認を得る。

2 顧問、運営委員、幹事長、副幹事長及び幹事は支部長が委嘱する。

（2）支部組織



＜東北支部組織図＞

① 役員・運営委員・オブザーバー

顧問	盛合 禧夫	東北工業大学名誉教授
支部長	大河原 正文	岩手大学理工学部准教授
副支部長	高見 智之	国際航業（株）東北支社技術部長
監事	渋谷 保 橋本 修一	日特建設（株）東北支店技術部長 （株）東北開発コンサルタント専門役
運営委員	1 井良 沢 道也	岩手大学農学部教授
	2 梅 村 順	日本大学工学部専任講師
	3 八 木 浩 司	山形大学地域教育文化学部教授
	4 大 月 義 徳	東北大学大学院理学研究科助教
	5 奥 山 武 彦	山形大学農学部教授
	6 千 葉 則 行	東北工業大学工学部教授
	7 檜 垣 大 助	弘前大学名誉教授
	8 宮 城 豊 彦	東北学院大学名誉教授
	9 阿 部 真 郎	奥山ボーリング（株）顧問
	10 三 瓶 和 法	国土防災技術（株）福島支店管理課長
	11 森 一 司	日特建設（株）技師長
	12 熊 谷 茂 一	（一社）斜面防災対策技術協会 東北支部長
	13 近 藤 敏 光	国際航業（株）東北統括部国土保全G担当部長
	14 八 畝 健	（株）日さく仙台支店長
	15 三 上 登 志 男	（株）復建技術コンサルタント技師長
	16 濱 崎 英 作	（株）アドバンテクノロジー社長
	17 山 崎 孝 成	国土防災技術（株）技術顧問
	18 荻 田 茂	奥山ボーリング（株）技術部長
	19 山 科 真 一	国土防災技術（株）東日本地域統括部長
	20 鄒 青 穎	弘前大学農学生命科学部助教
	21 山 浦 昌 之	（株）ダイヤコンサルタント東北支社支社長
	22 武 田 茂 典	基礎地盤コンサルタンツ（株）東北支社技術統括部長
	23 新 田 雅 樹	応用地質（株）東北事務所部長代理
	24 金 子 和 亮	日本工営（株）仙台支店副技師長

オブザーバー	1 国土交通省東北地方整備局河川計画課課長
	2 国土交通省東北地方整備局新庄河川事務所所長
	3 農林水産省東北農政局農村振興部農村環境課地質官
	4 農林水産省東北農政局農村振興部防災課課長
	5 林野庁東北森林管理局計画保全部治山課課長
	6 青森県県土整備部河川砂防課課長
	7 " 農林水産部農村整備課課長
	8 " 農林水産部林政課課長
	9 秋田県建設部河川砂防課課長
	10 " 農林水産部森林整備課課長
	11 " 農林水産部農地整備課課長
	12 岩手県県土整備部砂防災害課総括課長
	13 " 農林水産部農村建設課総括課長
	14 " 農林水産部森林保全課総括課長
	15 宮城県土木部防災砂防課課長
	16 " 農林水産部農村整備課課長
	17 " 水産林政部森林整備課課長
	18 山形県県土整備部砂防・災害対策課課長
	19 " 農林水産部森林ノミクス推進課課長
	20 " 農林水産部農村整備課課長
	21 福島県土木部砂防課課長
	22 " 農林水産部森林保全課課長
	23 " 農林水産部農村基盤整備課課長
	24 東日本高速道路（株）東北支社技術企画課課長
	25 東日本旅客鉄道（株）仙台支社工事課課長
	26 東北電力（株）土木建築部土木建築業務課課長

② 幹事

区分	委員会	氏名	所属
幹事長		瀬野孝浩	(株)新東京ジオ・システム
副幹事長	事業企画	渡辺 修	(同)水文企画
	巡検計画	三嶋昭二	応用地質(株)
	広報	大村 泰	奥山ボーリング(株)
幹事	事業企画	増田由紀子	日特建設(株)
		押見和義	(株)復建技術コンサルタント
		新田邦弘	地質基礎工業(株)
		西 俊憲	基礎地盤コンサルタンツ(株)
		小林基比古	日本工営(株)
		高橋康平	国土防災技術(株)
	巡検計画	井上 宏	日本工営(株)
		伊藤靖雄	(株)ダイヤコンサルタント
		石川恵司	(株)日さく
		柴崎達也	国土防災技術(株)
		細谷健介	新和設計(株)
	広報	石川晴和	(株)アドバンテクノロジー
		黒墨秀行	(株)総合土木コンサルタンツ
		池田浩二	(株)東北開発コンサルタント
		中臺直之	(株)新東京ジオ・システム
		大澤宏明	(株)復建技術コンサルタント
		羽生こずえ	(株)復建技術コンサルタント
会計・事務局			

名 称	実行内容
事業企画委員会	支部総会・シンポジウム、社会貢献・会勢拡大活動、他学会・協会との交流活動についての企画・運営、斜面変動コロキウムの実行
巡検計画委員会	地すべり現地検討会の企画・開催、災害時の調査団派遣検討及び調査報告書の作成
広報委員会	支部活動に関わる情報提供や広報活動、支部HP運営・管理、メール配信及び支部だよりの作成・配布

(3) 協賛金について

支部運営は協賛各団体からの協賛金によって運営されております。

協賛金については、昨年度より総会開催後概ね3ヶ月以内でのお振り込みをお願いしています。

また、ご協賛を頂いた団体・企業については「支部だより」に掲載させて頂いております。

お振込みの案内は、総会後に事務局よりご連絡しますので、よろしくお願いいたします。

○ 報告事項ほか

■本部開催事業

(1) 2020 年度（公社）日本地すべり学会社員総会及びシンポジウム

- ① 場 所 東京大学本郷キャンパス武田先端知ビル 5 階 武田ホール」（東京都）
- ② 日 程 2020 年 6 月 12 日 10：00～16：50（予定）

(2) 2020 年度第 59 回（公社）日本地すべり学会研究発表会及び現地見学会

- ① 場 所 山梨県立県民文化ホール（山梨県甲府市）
- ② 日 程 2020 年 9 月 16 日～9 月 18 日（予定）
- ③ 申込期限 学会 HP 大会 Web ページより申込み
参加申し込み 2020 年 5 月 11 日（正午）～8 月 17 日
発表申し込み 2020 年 5 月 11 日（正午）～6 月 22 日

(3) 災害調査報告会

- ① 場 所 東京都（詳細は未定）
- ② 日 程 2020 年 11 月 26 日（予定）

(4) 第 5 回斜面防災世界フォーラム(WLF5)2020 京都

WLF は、世界各国での斜面災害軽減に関する取り組みについての情報交換やネットワーク形成、研究促進を目指して、The International Consortium on Landslides（国際斜面災害研究機構）が、支援機関である国連教育科学文化機関（UNESCO）、国連防災機関（UNDRR）などと共に 2008 年から 3 年毎に各国で開催している国際会議です。第 4 回 WLF（スロベニア）には 49 か国約 608 人の参加がありました。参加者の専門分野も、理学・工学・農学などさまざまに境界領域の多面的な議論が行われます。

- ① 場 所 京都府 国立京都国際会館
- ② 日 程 2020 年 11 月 2 日～6 日
- ③ 参加費 発表者 66,000 円 学生および一般参加者 26,000 円

詳しくは <https://japan.landslide-soc.org/wlf5.html>

支部協賛団体（３７社）

○は 2019 年度にご協賛頂いた団体

- 一般社団法人 斜面防災対策技術協会東北支部
- 株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング 東北支社
- 株式会社アドバンテクノロジー
- 応用地質株式会社 東北事務所
- 奥山ボーリング株式会社
- 川崎地質株式会社 北日本支社
- 基礎地盤コンサルタンツ株式会社 東北支社
株式会社計測技研
- 国際航業株式会社 東北支社
- 国土防災技術株式会社 東北支社
- 株式会社新東京ジオ・システム
新和設計株式会社
- 合同会社水文企画
- 株式会社総合土木コンサルタンツ
- 株式会社測商技研 秋田支店
- 株式会社ダイヤコンサルタント 東北支社
- 株式会社地質基礎
- 中央開発株式会社 東北支店
- 株式会社テクノ長谷
株式会社東建ジオテック 東北支店
- 東光計測株式会社
- 東邦技術株式会社
- 東北ボーリング株式会社
- 土木地質株式会社
- 日栄地質測量設計株式会社
- 株式会社日さく 仙台支店
- 日鉄鉦コンサルタント株式会社 東北支店
- 日特建設株式会社 東北支店
- 日本基礎技術株式会社 東北支店
- 日本工営株式会社 仙台支店
- 株式会社平野組
不二ボーリング工業株式会社 仙台支店
- 株式会社復建技術コンサルタント
- 株式会社北杜地質センター
三菱マテリアルテクノ株式会社 秋田支店
明治コンサルタント株式会社 仙台支店
- ライト工業株式会社 東北総括支店